

かえる通信 1 八浜中



4月26日（木）学校訪問指導

コンサルタント、市教委、県教委が学校を訪問
・管理職との面談30分 取組方針内容等の共有
・一般教職員への講話ワークショップ

○教頭から前年同期（4月末）の業務時間の比較を報告 **平均5時間減少** 部活動が大きい。

○校長が取組の現状を説明

- ・「業務改善加速事業モデル校」のステッカー
- ・かえるボード
- ・留守番電話の導入
- ・部活動と中体連の取り決め事項の文書化（大会前1週間以外は平日1日は休日・土日のいずれか休日とする。その大会を各専門部で決定。H31年度から秋季大会を廃止）
- ・業務記録のパソコン導入
- ・自己目標シートの「知見を広める趣味の欄」の設定（ワークとライフ）別紙参照
- ・各分掌での工夫（例：生徒会の委員会を統合）
- ・水曜日の清掃を簡易清掃にして、定時退校日の完全実施を目指す。
- ・家庭訪問の見直し（来年度は1年生のみ完全実施 2, 3年生は希望者のみ実施）
- ・週休日の小中連携、地域行事（運動会・音楽発表会、盆踊り、老人会カラオケ大会）への管理職の参加の見直しを、小中連携管理職部会で提案

○ワークショップ

「理想の学校」「理想の働き方」について各自考え、付箋を貼りグループ化、テーマを考える。（写真）

<川上先生からの講評>

すでに多くの取組を実践していて感心した。部活動、中体連の取り決め事項の文書化共有は素晴らしい。自己目標シートの「知見を広める趣味の欄」の設定（ワークとライフ）はとくに関心を持たれた。家庭訪問の見直しも実現したら初めての学校となるようだ。職員間で業務改善加速事業モデル校についての理解や取組のエネルギーを感じたと言われた。話し合いが良く持たれているようだとも言われた。

<県教委からの講評>

県の示した実践例、家庭訪問や簡易清掃についての取組を考えてくれてありがたいとのこと。

※ 部活動指導記録簿について質問したがスルーされた。部活動指導記録簿と業務時間記録簿は事実を記入することと指導した。県ガイドライでは休日の運動部活動の活動時間は3時間程度だが、3校での練習試合などの場合は8時間の指導時間となる。活動時間と指導時間の違い。

